

## 災害対策で協力表示証 松山市消防局 55事業所に交付



芳野消防局長(右)から表示証を受け取る事業所代表者

防災士養成や防災訓練などに取り組んだとして松山市消防局は21日、市内の障害者施設や病院など55事業所に防災協力事業所表示証を交付した。

南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えようと2015年から計169事業所に表示証を交付。市が推薦した団体をNPO法人日本防災士機構(東京)

が認証している。

松山市萱町6丁目の市保健所・消防合同庁舎であった交付式で、市消防局の芳野浩三局長が代表者に表示証を手渡した。芳野局長は発生から6年たった東日本大震災に触れ「災害は『いつでもどこでも何でもあり』。事実を受け止め、万全な準備をすることがわれわれの宿命」と述べた。

(山本茜)